

# N UA Records

NUA Records は名古屋芸術大学の学生・卒業生のための音楽配信レーベルです。  
学生・卒業生たちの演奏や作品を多くの人に聴いていただきたいという願いから、2022年に立ち上げました。  
本学の特色である多様性を活かしながら、新時代のオーディオ表現である3D Audioにも挑戦し、  
多種多様な音楽を発信しています。

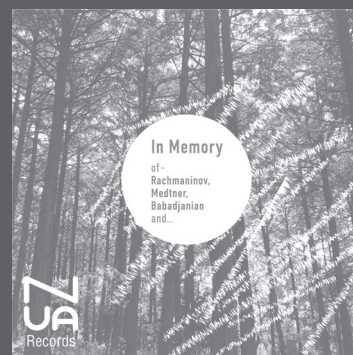
## Rachmaninov Piano Concerto, No.2

ラフマニノフ  
ピアノ協奏曲 第2番  
ハ短調 作品18  
ピアノ：瀧澤 俊



## In Memory of - Rachmaninov, Medtner, Babadjanian and ...

ピアノ：東 祐輔



演奏：名古屋芸術大学学生オーケストラ with  
名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団

指揮：高谷 光信

1. 第1楽章 Moderato
2. 第2楽章 Adagio sostenuto
3. 第3楽章 Allegro scherzando



ライブレコーディング

2021年1月29日  
愛知県芸術劇場コンサートホール

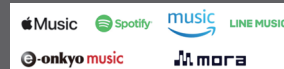


1. ラフマニノフ：練習曲《音の絵》op.33 第3番 ハ短調
2. ラフマニノフ：練習曲《音の絵》op.33 第6番 変ホ短調
3. メトネル：おとぎ話 作品9 第3番 ト長調
4. ババジャニアン：エレジー
5. ババジャニアン：詩曲



セッションレコーディング

2022年10月15日・16日  
名古屋芸術大学ホール



ピアノ：瀧澤 俊

### PROFILE

埼玉県出身。上野学園高校音楽科演奏家コース、名古屋芸術大学音楽総合コース（作曲・ピアノ専攻）卒業。現在、東京藝術大学大学院ソルフェージュ科在学中。4歳から電子オルガン、9歳からピアノ、16歳から作曲を始める。過去に第19回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 高校生部門アジア大会銀賞、第72回全日本学生音楽コンクールピアノ部門高校の部東京大会本選入賞、第38回JPTAピアノ・オーディションD部門最優秀賞及び萩原和子賞受賞など、数々のコンクールで入賞を果たす。また、名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団と、リスト、ラフマニノフのピアノ協奏曲を共演、好評を博す。学部卒業後、ピアノ、音楽理論、作曲など様々な分野での後進の指導にも当たっている。これまでにピアノを横山幸雄、田部京子、植田克己、上原彩子、田村響、島田彩乃、川田健太郎、今野尚美の各氏に、作曲を西尾洋氏に師事。



ピアノ：東 祐輔

### PROFILE

東京都出身。名古屋芸術大学 大学院 音楽研究科 器楽専攻卒業。第4回パデレフスキ国際ピアノコンクール（ファーマントンCT、アメリカ）第1位、第32回宝塚ベガ音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆審査員賞、第3回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジア第4位及びIMA賞、第5回下田国際音楽コンクール第2位など多数のコンクールで受賞し、下田、長野、横浜、東京でのリサイタルや、国内外の音楽祭への出演、在京オーケストラへの客演など、精力的に活動する。これまでに、故 P. バドゥーラスコダ、J. シェプス、S. アーノルド、F. ラドシュ、J. ルヴィエの各氏のレッスンを受講。リスト音楽大学マスタークラス（ヴァイマル、ドイツ）では、フレンツ・ラドシュ氏の推薦で選抜演奏会に出演。川田健太郎、横山幸雄、上原彩子の各氏に師事。

## ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

ピアノ：瀧澤 俊

レコーディング：サウンドメディア・コンポジションコースライブ配信チーム

ミックス・ドルビーアトモス制作：武石智仁 / 長谷川伊吹



アートワーク：河村果怜

### 作品について

この作品は、2021年1月29日に愛知県芸術劇場コンサートホールで行なった本学オーケストラコンサートのライブ配信時に収録した音源を用いて、3D AudioのフォーマットであるDolby Atmos®と通常ステレオでリスニング可能な音源を制作したものです。3D Audioでは通常ステレオと比べ、「臨場感」をより感じられるようになりました。例えば、ホールの正面の客席で演奏を聴いた際、1st Vn. は左前から聴こえると思います。しかし、私は後ろの壁に反射した1st Vn. が、その対角線である右後ろからも聴こえた経験があります。これがホールならではの臨場感だと感じ、この感覚をイメージしながら制作しました。特に第1楽章冒頭のピアノ独奏では、模したとされるロシア正教会の鐘が遠くまで響き渡るような臨場感を体験することが出来ます。あたかもホールで聴いているような響きを演出しつつも、ラフマニノフが書いたアレンジに触れられるように、各楽器の音の粒が届くように制作しました。また、3D Audioでは通常ステレオと比べ、各楽器の配置を分散することが可能になり、各楽器の動きがより鮮明に見えるようになりました。特に第2楽章の木管楽器のフレーズの移り変わりや、第3楽章フィナーレにあるピアノとオーケストラによる掛け合いにおける各楽器間のやりとりには注目です。ぜひお聴きください。



## In Memory

of - Rachmaninov, Medtner, Babadjanian and ...

ピアノ：東 祐輔

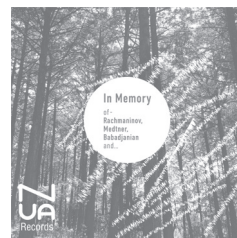
レコーディング：サウンドメディア・コンポジションコース

ミックス・

ドルビーアトモス制作：

NUA Records Atmos TEAM

長谷川采奈 / コーネリア・ツォーラー / 宮内快 / 伊東桜佳 / 武石智仁 / 名木山棕 / 中村颯汰 / 碓井陽香 / 吉田光太 / 向原帆香 / 長谷川伊吹



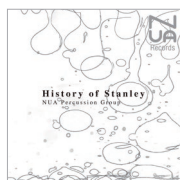
アートワーク：川瀬詩乃

### 作品について

このアルバムは、当時名古屋芸術大学大学院生であったピアニストの東祐輔の演奏による、ロシアに縁がある作曲家を偲んだピアノ曲集です。2023年に生誕150周年を迎えたセルゲイ・ラフマニノフの練習曲集《音の絵》、同時代を生きたニコライ・メトネルの《おとぎ話》、アルメニアの作曲家であるアルノ・ババジャニアンによる《エレジー》《詩曲》によって構成されています。メトネルとババジャニアン作品は日本では演奏機会が極めて少ないですが、その豊かな情景描写と表現力は特筆すべきものです。《詩曲》は、チャイコフスキー国際コンクールの委嘱曲として作曲された作品でもあり、非常に技巧的かつ極限の緊張感が漂います。アルバムタイトルは、ババジャニアンが同郷の偉大な作曲家であるハチャトゥリアンの死に際して書かれた、《エレジー》の副題「In Memory of Aram Khachaturian」より引用されています。レコーディングは2022年10月、ベルリンよりトーンマイスターであるフローリアン・B・シュミット氏を招き、名古屋芸術大学ホールで開催された「トーンマイスターワークショップ2022」において、セッションレコーディングの形式で行われました。事後の編集とミックスはサウンドメディア・コンポジションコースの学生によって行われました。



## COMING SOON

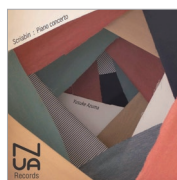


### History of Stanley NUA Percussion Group

Stanley Leonard : Reflections (世界初演)  
Stanley Leonard : Circus

セッションレコーディング：2023年3月名古屋芸術大学ホール

2023/9 RELEASE (予定)



### スクリャーピン：ピアノ協奏曲 嬰へ短調 作品20 ピアノ：東祐輔

演奏：名古屋芸術大学学生オーケストラ with  
名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団

指揮：金丸 克己

ライブレコーディング：2023年1月31日  
愛知県芸術劇場コンサートホール

2023/10 RELEASE (予定)